

おいて 追風に帆を上げろ

学校長 駒田 勝

いよいよ、「沖縄」に向け、修学旅行に出発です。

どれだけの人が、今日の日を想像できたでしょうか。まさに、これは「奇跡」です。

二学期当初、「新型コロナウイルス」は、ほぼすべてが「デルタ株」と呼ばれる変異株に置き換わり、感染者も高齢者層から若年者層へと大きく移行し、その様相は一変しました。第5の波は、これまでにない急激な勢いで、感染者を増加させ、多くの医療機関が、対応に苦慮する状況に陥りました。教育機関も例外ではありません。本校を含む第4学区も、これまでに経験したことのないコロナの洗礼を受け、様々な対応を求められました。そして、多くの学校が、修学旅行先の変更や実施時期の変更に向け、検討を始めていきました。そのような中、先行きが不透明で予測できない状況において、行き先や日程等を変更しても、必ず実施できるという確証が得られないことから、本校では、最後まで状況を見極め、最終判断をすることにしました。

10月になり、絶妙のタイミングで追風が吹き始めました。コロナ禍において、修学旅行を実施できるチャンスに恵まれたのです。

この機会を逃す手はありません。皆さんには、修学旅行を通して、琉球王国の時代から現在の沖縄に至るまで、様々な文化の影響を受けながら発展してきた、沖縄の歴史・伝統文化、そして自然に大いに触れてもらいと思います。特に、民泊・家業体験では、自然と人間の共存、沖縄の暮らし、そして人々とのふれあいを体感してください。これまでにない貴重な経験になることでしょう。

ただ、これだけは約束してください。コロナは根絶されているわけではありません。私たちの旅行中には、「コロナ感染」のリスクが常についてまわるということです。先生方の指示に従い、マスクの着用等、感染防止対策を十分に励行しましょう。そして、誰一人として欠けることなく、全員そろって無事に帰宅することを約束したうえで、出発することにしましょう。

「追風に帆を上げろ。いざ、出発!!」

今回の修学旅行が、72回生の皆さんにとって、思い出深い経験となることを願っています。